

三菱電機

インターネット情報提供サービス

[業務用]

商品名

MELく～るLINK

取扱説明書

(スマートフォン編)


- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。


This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること	2
1. ご使用の前に	5
1-1. 本サービスについて	5
1-1-1. サービス全般のご利用にあたっての お知らせとお願い	5
1-1-2. R32冷媒を使用した空調機器で 本サービスをご利用いただくに あたってのお知らせとお願い	6
1-2. システム構成	7
1-3. 制約	8
1-3-1. 共通	8
1-3-2. AE-CZJあるいはEW-CZJを 使用する場合	8
1-3-3. MCC-50Jを使用する場合	9
1-4. 関連資料	10
2. 使用方法	11
2-1. 機能	11
2-2. サービス対象機種	11
2-3. ログイン/ログアウト	12
2-4. 冷媒漏えい診断結果の確認	14
2-5. 異常履歴の確認	18
2-6. 運転データの確認	19
2-7. 号機情報の確認	21
2-8. メニュー画面	23
2-8-1. トップ画面	23
2-8-2. 各種機能	23
2-8-3. 操作説明書	24
2-8-4. パスワード変更	24
2-8-5. ログアウト	25
2-9. 機器名リスト	26
3. 定期点検	27
4. 仕様	28
5. 修理を依頼する前に	29
6. 法令関係の表示	31
6-1. 関連ガイドラインについて	31
6-2. 商標、登録商標について	31
7. 保証とアフターサービス	32
7-1. 本サービスの提供	32
7-2. お問い合わせ	32

安全のために必ず守ること（対象：微燃性冷媒使用時）

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

以下の場所にコントローラを設置しない。

- ◆心臓ペースメーカー装着者が使用する可能性がある場所
- ◆医療用電気機器が近くにある場所
- ◆自動ドアや火災報知機などの自動制御機器が近くにある場所



- ◆上記機器の動作に影響を与える事故の原因になります。
- ◆設置する場合は、コントローラの電波放射を停止してください。

火気を近づけない。

- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



換気をする。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



ガス漏れ検知器が反応した場合、直ちに燃焼器具の使用を止め、換気する。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。
- ◆機器の管理者・お買上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡してください。



システム冷媒量、設置空間、居室空間の容積や据付位置に応じて、以下の安全装置を設置する。

- ◆ガス漏れ検知器
- ◆警報装置
- ◆安全遮断弁
- ◆機械換気装置

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



冷媒が漏れた場合は以下を実施する。

- ◆ 漏れ箇所を発見し、修理する。
- ◆ 修理後、冷媒を充てんし、漏れがないことを確認する。
- ◆ 漏れ箇所が発見できないときは修理を中断し、冷媒を回収する。



指示を
実行

- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。

定期的に安全装置の点検をする。

- ◆ 不備があると、冷媒漏れ時に酸素欠乏・有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。



指示を
実行

以下の安全装置を5年毎に交換する。

- ◆ ガス漏れ検知器（空調機器搭載の冷媒センサー）
- ◆ 警報装置



指示を
実行

- ◆ 交換せずに使用すると、警報装置が作動しない可能性があります。
- ◆ 冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆ 冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生・引火・火災の原因になります。

安全のために必ず守ること（対象：不燃性冷媒使用時）

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



（一般禁止）



（一般指示）

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

以下の場所にコントローラを設置しない。

- ◆心臓ペースメーカー装着者が使用する可能性がある場所
- ◆医療用電気機器が近くにある場所
- ◆自動ドアや火災報知機などの自動制御機器が近くにある場所



禁止

- ◆上記機器の動作に影響を与える事故の原因になります。
- ◆設置する場合は、コントローラの電波放射を停止してください。

換気をする。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生の原因になります。



換気を実行

1. ご使用の前に

1-1. 本サービスについて

1-1-1. サービス全般のご利用にあたってのお知らせとお願い

- ・本サービスの冷媒漏えい診断では、フロン排出抑制法で定められた「常時監視システムを用いた遠隔監視による簡易点検」を行う場合^{*1}に、冷媒漏えい診断^{*3}と点検結果^{*5}の確認を行うことができます。法令で定められた「点検記録簿の作成・保管」を行う際に、簡易点検についての記録は、常時監視システムの点検結果を基に、別途お客様で記入していただく必要があります。

 - ※1 令和4年経済産業省・環境省告示第九号により、常時監視システムのうち要件^{*2}に適合するものを用い、遠隔監視で検査(簡易点検)に代えることが可能となりました。
 - ※2 本サービスは、要件で指定された日本冷凍空調工業会ガイドライン(JRA GL-17:2021)[2021年(令和3年)5月24日制定版]を満足しています。
 - ※3 診断により漏えいを確認した場合には、専門点検^{*4}を行ってください。冷媒漏えいの対応方法は「1-4. 関連資料 [1] (10ページ)」に記載している冷媒漏えい時のフローチャートも参照してください。
 - ※4 フロン排出抑制法に定められた「十分な知見を有する者」が直接法(発泡液塗布、冷媒漏えい検知器、蛍光剤、窒素ガス充填などにより冷媒漏えいを確認する方法)または間接法(蒸発器圧力、圧縮機駆動電圧および電流などの計測結果から冷媒漏えいを確認する方法)により実施する点検。点検内容、方法の詳細、十分な知見を有する者の要件は、環境省などの官公庁が提供するフロン排出抑制法資料をご確認ください。
 - ※5 MEL く～る LINK の利用を終了する場合は、ユーザー情報削除の前に必要なデータの出力をしてください。
- ・本サービスの冷媒漏えい診断は、JRA GL-17:2021 [2021年(令和3年)5月24日制定版] ((一社)日本冷凍空調工業会作成ガイドライン) で規定されている「定格(冷房、冷却、冷凍、除湿)の温度条件」で漏えい検知性能を確認し、フロン排出抑制法で定められている「常時監視システムを用いた遠隔監視により簡易点検を行う場合の機器の要件」に適合した機能を有しています。機器の特性上、JRA GL-17:2021 で規定された試験条件以外では、診断の性能が低下する場合があります。特に、停止状態が長期継続する場合には、機器点検の実施を検討してください。
- ・本サービスの冷媒漏えい診断機能は、対象空調機器において冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあることを診断し、その診断結果を提供する機能であり、実際に冷媒漏えいが発生したことによりお客様に損害が生じたとしてもその責任を負わないものとします。
- ・次の条件のいずれかに該当する場合は、正常にサービスを提供できない場合があります。

 - 1) 停電、機器の故障などにより対象空調機器の運転データを正常に取得できなかった場合。
 - 2) 本サービス(運転データ取得、診断結果の表示や通知など)に使用するネットワークや電気通信設備に障害、負荷集中などの異常が発生した場合。
 - 3) 空調機器施工時に封入すべき冷媒量に関して、当社が定める冷媒量を封入していない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
 - 4) 空調機器が故障などにより正常に運転していない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
 - 5) 空調負荷の変動が大きい、空調負荷が継続的に小さいなど安定した運転状況ではない場合、正常に冷媒漏えいの診断ができない場合があります。
- ・本サービスは、システム保守や機能アップのため、ソフトウェアバージョンアップを行う場合があります。
- ・バージョンアップ実施時は、MEL く～る LINK のホームページで変更を公開します。
- ・バージョンアップ中とその前後で、一時的に運転データが閲覧できない場合や記録されない場合があります。
- ・フロン排出抑制法を遵守するため、冷媒漏えい診断をオプション機能で有効としている場合、空調機器の運転停止などによる運転データ欠損期間が連続して3か月^{*6}を超えないようにMEL く～る LINK による冷媒漏えい診断を実施してください。連続して3か月を超えて運転データが取得できない場合、空調機器の管理者による簡易点検の実施が必要

となります。

※6 運転データ取得ができなくなった日を起点とします。

1-1-2. R32 冷媒を使用した空調機器で本サービスをご利用いただくにあたってのお知らせとお願い

- 本サービス (MEL く～る LINK) は、R32 冷媒を使用する空調機器で設置が必要な安全装置である警報装置の機能を提供するものではありません。(安全装置の要件は「6-1. 関連ガイドラインについて (31 ページ)」に示すガイドラインで規定されています)
冷媒漏えい時の警報は、空調機器を使用する現地に設置の警報装置で発報することが前提のシステムとなります。遠隔監視に用いる際は、空調機器に搭載もしくは別置の冷媒センサーで検知した際に発報する異常通知 (メールによる通知)、または冷媒漏えい検知機能 (契約時のサービス) による漏えい検知により冷媒漏えいが発生した可能性をお知らせしますので、これらの情報を確認した場合は速やかに処置^{※7}を実施してください。
- 本サービスの冷媒漏えい検知は 2 つの方法 (空調機器で R32 冷媒の漏えいが発生した場合、空調機器に内蔵する冷媒センサーまたは別置の検知警報器での検知による異常通知と、本サービスで別途契約により利用可能な「冷媒漏えい検知」による漏えい検知) によって、ユーザーに冷媒が漏えいした可能性があることをお知らせします。それぞれの機能は空調機器のセンサーで検知を行うものと、空調機器の運転状態から漏えいを判断するものの違いであり、特性の違いから必ずしも同じタイミングで発報を行うものではありません。漏えいを検知した場合はメールおよび画面上の異常通知でお知らせしますので、通知を受けた際は対応^{※7}を行ってください。
- 本サービスで提供する「安全装置回路点検サポート機能」は、安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が正常に動作することを点検する際にユーザーを補助する為の機能であり、本機能のみで遠隔で全ての点検内容を完了させるものではありません。
- R32 冷媒は微燃性がある為、当社空調機器を用いる場合は、安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) の設置が必要となります。検知器 (空調機器に搭載の冷媒センサー) と別置の検知警報器は設置から 5 年毎に交換が必要です。交換しないまま使用を続けた場合、警報装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。(検知器、検知警報器の交換は「6-1. 関連ガイドラインについて [3] (31 ページ)」で規定されています)
- 安全装置回路点検 (JRA GL-16 で求められる回路検査) は、1 年に 1 回以上実施し、正常に安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が動作することを確認してください。点検を実施せず使用を続けた場合、安全装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 検知器および検知警報器の交換および安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) の保守・点検方法については、空調機器 (室外機および室内機) の取扱説明書、据付工事説明書、および施工 / サービスマニュアルをご確認ください。
- 停電により警報が発報されないことを防ぐ為、安全対策に使用する安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁)、換気装置等の電源は点検等のやむを得ない場合を除き停止しないようにしてください。
- 間仕切りの変更により空調機器の設置条件が変更となった場合は、必要に応じて安全装置 (検知器、警報装置、安全遮断弁) が有効に機能するよう設置場所を見直してください。
- 空調機器の管理者は、空調機器の利用者が冷媒漏えい時に対応^{※7}ができるように、説明および掲示などによって利用者に冷媒漏えい時の対応を通知するようにしてください。また、警報装置の近くに関係する連絡先の表示を行ってください。
- 冷媒漏えいが発生した場合、窓や戸を開けるなどして換気を行ってください。その後、ただちに空調機器の管理者に警報が発報したことを連絡してください。連絡を受けた管理者は点検保守業者へ点検・修理を依頼し、点検保守業者は携帯形検知器を携行した上で、速やかに現地へ向かい点検を実施してください。冷媒漏えい時の処置については、空調機器の施工 / サービスマニュアルにフローチャートを示した説明がありますのでご確認ください。なお、点検・修理の作業時には、JRA GL-16 : 2023 ((一社) 日本冷凍空調工業会作成ガイドライン) の箇条 8 で規定されている内容を遵守して作業を行ってください。修理を行わずそのまま使用を続けた場合、事故や火災の原因となる可能性があります。修理後は、冷媒漏えいの警報が発報しないことと、安全装置が正常に機能することを確認した上で空調機器を使用してください。

※7 処置方法は、「1-4. 関連資料 [1] (10 ページ)」をご確認ください。

1-2. システム構成

AE-CZJ、EW-CZJ、MCC-50Jを使用して、MELく～るLINKを使用する場合のシステム構成制約事項を示します。

■MELく～るLINKに接続可能なユニット、リモコン、集中コントローラ

「[1] MELく～るLINK ホームページ」に記載されている対象機種を参照してください。

なお、「異常履歴の確認」、「号機情報（接続機器情報）の確認」、「運転データの確認」、「冷媒漏えい診断結果の確認」、「安全装置回路点検サポート」の各機能では、対象機種が異なります。

また、「安全装置回路点検サポート」に対応するリモコン、集中コントローラなどは、「1-4. 関連資料 [1]（10ページ）」を参照してください。

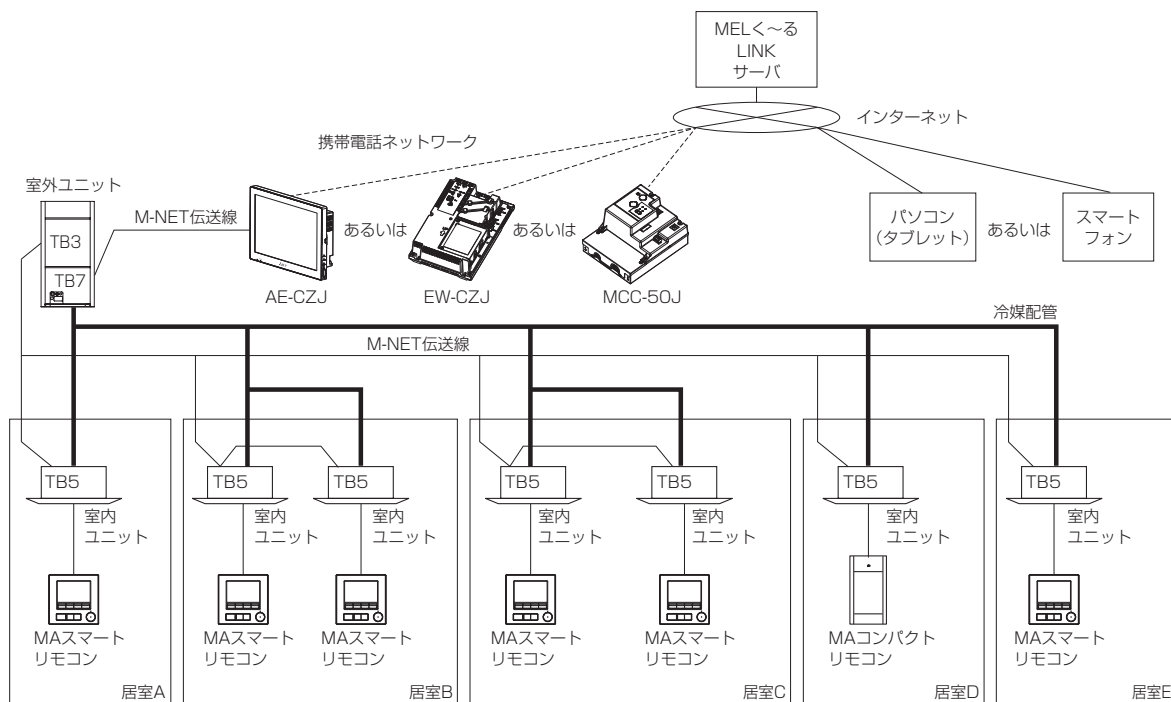
[1] MELく～るLINK ホームページ

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/guide/solution/melcool/index.html>

■システム構成

以下に接続の例を示します。

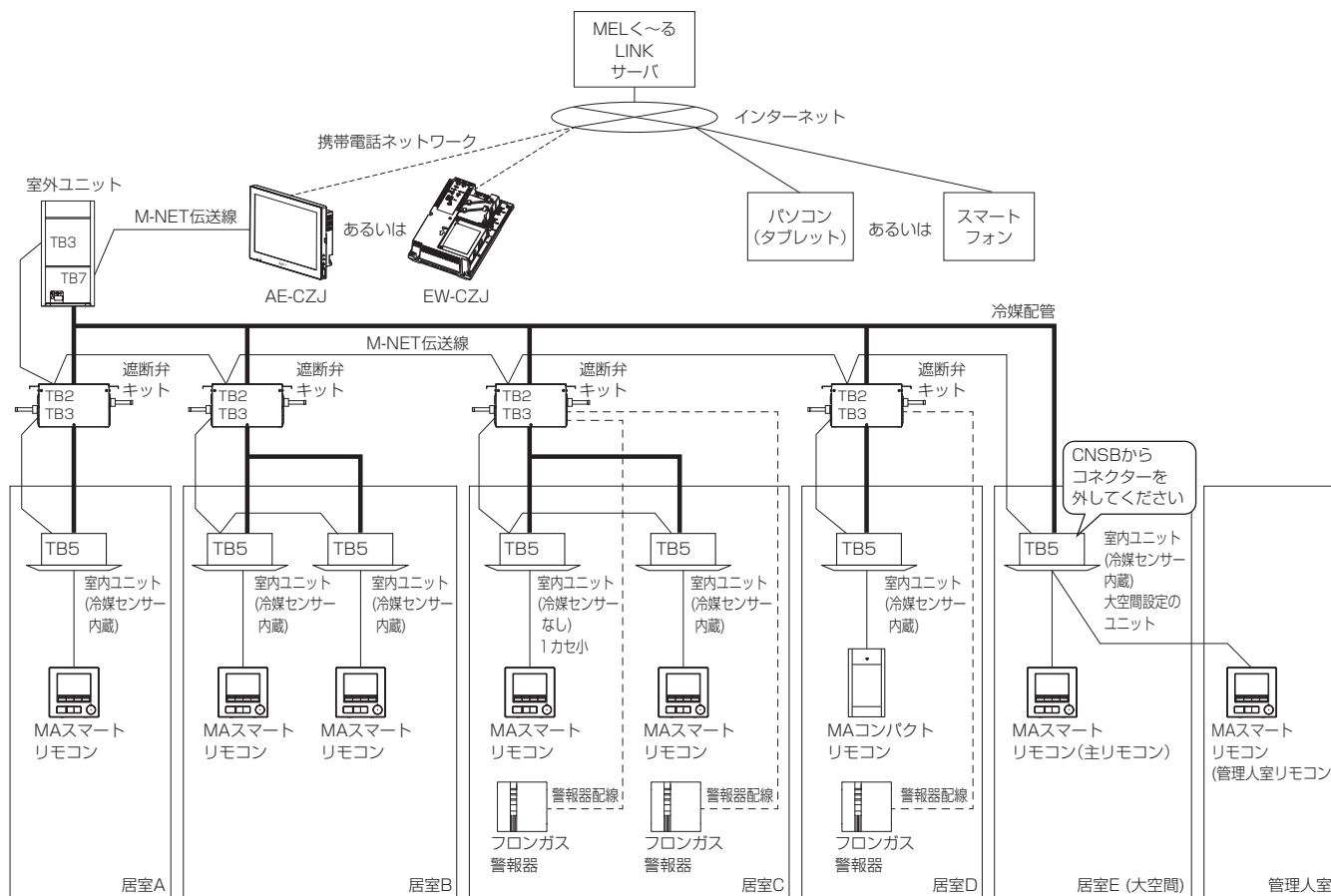
R32安全回路 なし



■システム構成(安全装置回路点検サポート)

以下に接続の例を示します。

R32 安全回路 あり



1-3. 制約

MELく～るLINKをAE-CZJ、EW-CZJ、MCC-50Jで利用する際の確認事項、制約事項を記載します。AE-CZJ、EW-CZJとMCC-50Jでは内容が一部異なりますので、ご確認をお願いいたします。

1-3-1. 共通

- 通信状態などにより一時的に運転データが取得できない場合があります。
- 契約していないサービスの機能については、使用できません。
- 画面の表示内容は、予告なく変更する可能性があります。
- 管理する物件が1件の場合は、一部の画面や機能が非表示または使用できない場合があります。
- 本マニュアル上で画面として記載されている機器の名称は一つの例であり、お客様が使用される機器とは異なる場合があります。

1-3-2. AE-CZJあるいはEW-CZJを使用する場合

- 運転データ表示は、通信状況等により一時的に運転データが取得できない場合があります。停電、本体のリセットボタンの押し下げ、およびAE-CZJ/EW-CZJのソフトウェアアップデートが発生した場合、リセット時点から最大2時間前の運転データが取得できません。
- インターネット不通時はAE-CZJ/EW-CZJに過去5日分のデータが保持されます。
 - ※ インターネット不通状態が5日以上続くと過去のデータから消去されます。AE-CZJ/EW-CZJ内に保持されている過去データは、インターネット接続時にクラウドへ保存されます。
 - ※ インターネット不通期間にAE-CZJ/EW-CZJの停電、本体のリセットボタンの押し下げが発生した場

合は、保持されている過去データは消去されます。

- スリムエアコンを冷媒漏えい診断対象に設定し、その機器が1日中停止状態だった場合、サービス会社が設定した時刻(初期設定では3時。サービス業者により、2～23時の間で設定可能)に、冷媒漏えいを診断するための、短時間(25～60分程度)の運転(試運転モードでの運転)を実施します。ユニットが冷媒漏えい診断を実施するための短時間運転中に、リモコン操作やスケジュール機能で停止すると冷媒漏えい診断が行われませんので、試運転モードでの運転中は停止しないでください。試運転モード中は、設定された運転モード、風量、風向と異なる運転となることがあります。AE-CZJの電力按分課金支援機能と併用する場合は、前述の運転も電力按分の対象となります。
- スリムエアコンに対して冷媒漏えい診断する場合は、1グループに対しスリムエアコン室外機1台としてください。
- スリムエアコンで冷媒漏えい診断を利用する場合、上位システムコントローラや遠方発停用アダプタ等の外部入力により手元リモコン操作禁止(運転/停止、運転モード)を設定すると、冷媒漏えい検知のための運転を実施できず、冷媒漏えいを検知することができない場合があります。スリムエアコンに対しては手元リモコン操作禁止を設定しないか、または上位システムコントローラのスケジュール機能を使用して冷媒漏えい検知運転の時間帯を避けて手元リモコン操作禁止を設定してください。
(設定例：冷媒漏えい検知運転試運転モードの運転時間帯が3:00～5:00の場合、システムコントローラのスケジュール設定による手元リモコン操作禁止はAM 2:30「無効」・AM 5:30「有効」に設定する。)
- MELく～るLINKをご利用の場合、AE-CZJ/EW-CZJの時刻同期設定を「NTP」とし、クラウドサービスと同期するように設定してください。また、複数のAE-CZJ/EW-CZJを管理するシステムでは、現地ネットワーク内の全てのAE-CZJ/EW-CZJを「NTP」設定としてください。AE-CZJ/EW-CZJの時刻がずれていると、運転データの表示や冷媒漏えい診断が正常に動作しない場合があります。設定方法は「AE-CZJ/EW-CZJ取扱説明書(詳細編)」を参照してください。
- 冷媒漏えい診断対象外の機器では正しく冷媒漏えい診断が行われません。
- MELく～るLINKをご利用の場合、有線LAN接続でAE-CZJ/EW-CZJを使用することはできません。
- HWHP、業務用エコキュート、低温機器、除湿器、ルームエアコン、ハウジングエアコンはM-NETで接続することが可能ですが、MELく～るLINKの機能は利用できません。
- MELく～るLINKにAE-CZJ/EW-CZJを接続する場合、DT-Rの最大接続台数は12台までです。DT-RとDT-R以外の機器を併設する場合、空調機3台をDT-R 1台相当、HWHP1台をDT-R 1台相当、業務用エコキュート1台をDT-R 1台相当とし、DT-Rは12台(相当)以下にしてください。
- 遠隔監視の目的で新たにAE-CZJ/EW-CZJを設置する場合、現地の運用と合うようにDT-Rの設定値(後押し優先、指令入力元等)を確認してください。機種や設定によっては、AE-CZJ/EW-CZJと既設MAリモコンの機能が競合し、MAリモコンのスケジュール機能が利用できない等の問題が生じる場合があります。詳細はDT-RとAE-CZJ/EW-CZJの据付工事説明書、取扱説明書、技術マニュアルを参照してください。
- DT-Rの冷媒漏えい診断については、2023年7月製造以降のDT-RⅢ(プログラムVer.2.00以降)に対応しています。2023年6月以前に製造されたDT-RⅢについてはソフトウェアのバージョンアップが必要となります。バージョンアップについては、販売店にお問い合わせください。

1-3-3. MCC-50Jを使用する場合

- MCC-50Jでは安全装置回路点検サポートは利用できません。
- 運転データ表示は、通信状況等により一時的に運転データが取得できない場合があります。停電、本体のリセットボタンの押し下げ、およびMCC-50Jのソフトウェアアップデートが発生した場合、リセット時点から最大2時間前の運転データが取得できません。
- インターネット不通時はMCC-50Jに過去5日分のデータが保持されます。
 - ※ インターネット不通状態が5日以上続くと過去のデータから消去されます。MCC-50J内に保持されている過去データは、インターネット接続時にクラウドへ保存されます。
 - ※ インターネット不通期間にMCC-50Jの停電、本体のリセットボタンの押し下げが発生した場合は、保持されている過去データは消去されます。
- スリムエアコンを冷媒漏えい診断対象に設定し、その機器が1日中停止状態だった場合、サービス会社が設定した時刻(初期設定では3時。サービス業者により、2～23時の間で設定可能)に、冷媒漏えいを診断するための、短時間(25-60分程度)の運転(試運転モードでの運転)を実施します。ユニットが冷媒漏えい診

断を実施するための短時間運転中に、リモコン操作やスケジュール機能で停止すると冷媒漏えい診断が行われませんので、試運転モードでの運転中は停止しないでください。

- また、上位システムコントローラや遠方発停用アダプタ等の外部入力により手元リモコン操作禁止(運転/停止、運転モード)を設定すると、冷媒漏えい検知のための運転を実施できず、冷媒漏えいを検知することができない場合があります。スリムエアコンに対しては手元リモコン操作禁止を設定しないか、または上位システムコントローラのスケジュール機能を使用して冷媒漏えい検知運転の時間帯を避けて手元リモコン操作禁止を設定してください。

(設定例：冷媒漏えい検知運転試運転モードの運転時間帯が3:00～5:00の場合、システムコントローラのスケジュール設定による手元リモコン操作禁止はAM 2:30「無効」・AM 5:30「有効」に設定する。)

- 試運転モード中は、設定された運転モード、風量、風向と異なる運転となることがあります。AE-200Jの電力按分課金支援機能と併用する場合は、前述の運転も電力按分の対象となります。
- スリムエアコンに対して冷媒漏えい診断する場合は、1グループに対しスリムエアコン室外機1台としてください。また、グループ設定については、MELく～るLINK(専用クラウドシステム)を提供している販売店またはサービス会社にご確認ください。

- 冷媒漏えい診断対象外の機器では正しく冷媒漏えい診断が行われません。

- MELく～るLINKをご利用の場合、有線LAN接続でMCC-50Jを使用することはできません。

- ジーニアスリモコンで、一部のロスナイ機種(LGH-N**RX(D)、LGH-N**RKX2(D)、LGH-**CX6(D)、LGH-N**CX(D)、LKY-50RX)のナイトパーズ機能を使用している場合、MCC-50Jの立ち上げ通信(MCC-50J起動、初期設定ファイルアップロード、通信異常復旧)の発生から2時間半の間、ナイトパーズが停止し手元リモコンの画面からもナイトパーズの設定変更ができません。また、24時間換気機能を使用している場合は、24時間換気動作は継続し影響はありませんが、上記2時間半の間、手元リモコンの24時間換気設定画面から24時間換気制御のON/OFFの設定ができません。

(ただし、手元リモコンのサービスメニューの機能設定画面からは設定ができます。)

なお、2時間半経過後、ナイトパーズ動作は復帰し、手元リモコンにはナイトパーズと24時間換気動作の設定画面が再度表示され、設定変更が可能になります。

- ルームエアコン、ハウジングエアコン、低温機器、除湿機、給湯機器には接続できません。

- 電気用品安全法により三菱電機ルームエアコンおよびハウジングエアコン(システム制御用インターフェース接続)は、MELく～るLINKシステムのEthernet通信や無線通信を使用できません。詳細は販売店にお問い合わせください。

- MCC-50Jを接続する場合、DT-Rの最大接続台数は12台までです。DT-Rと空調機を併設する場合、空調機3台をDT-R 1台相当とし、DT-Rは12台以下にしてください。

- DT-RにMCC-50JとMAリモコンを併設するシステムで、後押し優先機能を有効にしている場合は、MAリモコンのスケジュール機能は使用できません。(DT-R(初期型)や、DT-R IIで後押し優先無効(出荷時設定初期値)、DT-R IIIで後押し優先無効(要設定)の場合はスケジュール機能を使用できます。)。ただし、23年7月生産分以降のDT-R IIIでは、後押し優先機能が有効であってもMAリモコンのスケジュール機能が使用できます。それ以前に生産されたDT-R IIIでは、最新のソフトにバージョンアップを行うことで、使用可能となります。後押し優先機能、および、バージョンアップが必要かどうかについては、専用クラウドシステムを提供している販売店またはサービス会社にお問い合わせください。なお、AE-200JとMAリモコンを併設する場合はスケジュール機能の競合を抑えるために、MAリモコンのスケジュール機能は使用せず、AE-200Jのスケジュール機能を使用してください。

1-4. 関連資料

[1] 三菱電機 ビル用マルチエアコン 施工/サービスマニュアル R32 冷媒対応 (MEES23W063)

[2] 三菱電機空調冷熱総合管理システム AE-CZJ/EW-CZJ取扱説明書(詳細編)(WT09992)

2. 使用方法

MELく～るLINKの使用方法を説明します。

2-1. 機能

MELく～るLINKは、以下のサービスを提供します。

- ・ 異常履歴の確認
- ・ 号機情報（接続機器情報）の確認
- ・ 運転データの確認（オプション）
- ・ 冷媒漏えい診断結果の確認（オプション）
- ・ 安全装置回路点検サポート（オプション）

機器に異常が発生したときには、登録したメールアドレス宛にメールが送付されます。また、冷媒漏えい診断結果をダウンロードすることができます。

提供サービス	スマートフォン	PC (タブレットを含む)
異常履歴の確認	○	○
号機情報（接続機器情報）の確認	○	○
運転データの確認	○	○
冷媒漏えい診断結果	○	○
安全装置回路点検サポート	-	○

○は対応しています。-は未対応です。

お知らせ

- ・ オプションのサービス利用は個別に契約が必要です。
- ・ お客様が管理される物件数や使用される機器によって、表示される画面や画面に表示される機器名称が本マニュアルと異なる場合があります。
- ・ 通信状態などにより一時的に運転データが取得できない場合があります。
- ・ 画面の表示内容は、予告なく変更する可能性があります。

2-2. サービス対象機種

MELく～るLINKのサービス対象機種・冷媒漏えい検知対象機種は、MELく～るLINKのホームページで確認してください。「1-2. システム構成 [1] MELく～るLINK ホームページ (7ページ)」を参照してください。

2-3. ログイン/ログアウト

[1] ログイン

手順

1. ログイン画面を開く。
MELく～るLINK ホームページにアクセスします。
ホームページで、「MELく～るLINK ログイン」ボタンをタッチします。
2. MELく～るLINKにログインする。
ユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン] ボタンをタッチします。
(契約内容により2種類のログイン画面があります。)



3. MELく～るLINKのトップ画面を開く。
MELく～るLINKのトップ画面に、お客様が契約しているサービスの機能が表示されます。

トップ画面（縦）



トップ画面（横）



[2] ログアウト

手順

1. 画面右上にある [ / ] をタッチする。
2. メニュー一覧から [ログアウト] をタッチします。



2-4. 冷媒漏えい診断結果の確認

冷媒漏えい診断結果を閲覧できます。

※ ※閲覧にはオプション契約が必要です。

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[冷媒漏えい診断結果]をタップする。



お知らせ

- 本サービスでは空調機器でR32冷媒の漏えいが発生した場合、空調機器に搭載する冷媒センサーまたは別置の検知警報器での検知による異常通知と、本サービスで別途契約により利用可能な「冷媒漏えい診断」による漏えい検知の2つの情報を用い、ユーザーに冷媒が漏えいした可能性があることをお知らせします。それぞれの機能は空調機器のセンサーで検知を行うものと、空調機器の運転状態から漏えいを判断するものの違いであり、特性の違いから必ずしも同じタイミングで発報を行うものではありません。漏えいを検知した場合はメールおよび画面上の異常通知でお知らせしますので、通知を受けた際は対応を行ってください。処置方法は、「1-4. 関連資料 [1] (10ページ)」をご確認ください。

2. 「物件選択-冷媒漏えいの診断」画面より、冷媒漏えい診断結果を表示したい建物名称の[>]をタップする。



3. 「冷媒漏えいの診断」画面より、カレンダーの日付にある【●】または【●】をタップし、その日の冷媒漏えい診断結果を表示する。

表示月の変更・選択ができます。

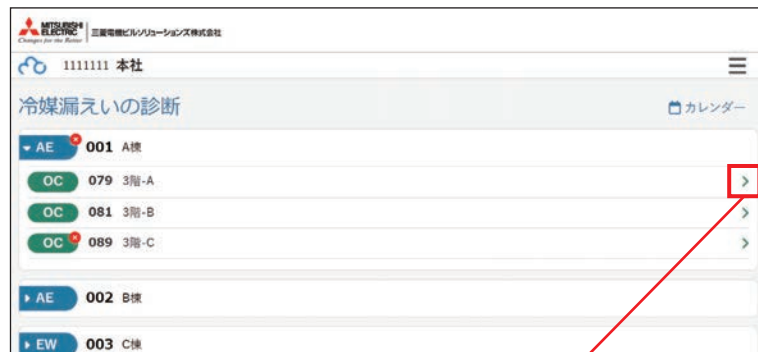


● OK：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいの疑いはありません。

● NG：1台以上の診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいの疑いがあります。

無印：日付に色がついていない場合（無色）は、未契約の期間や診断ができなかった場合に発生します。
 空調機器が停止している場合、停電、機器の故障などにより対象空調機器の圧力情報、温度情報など、
 運転データを正常に取得できなかった場合、診断が行えません。

4. 確認したい項目の[>]をタップし、時間ごとの冷媒漏えい診断結果を表示する。



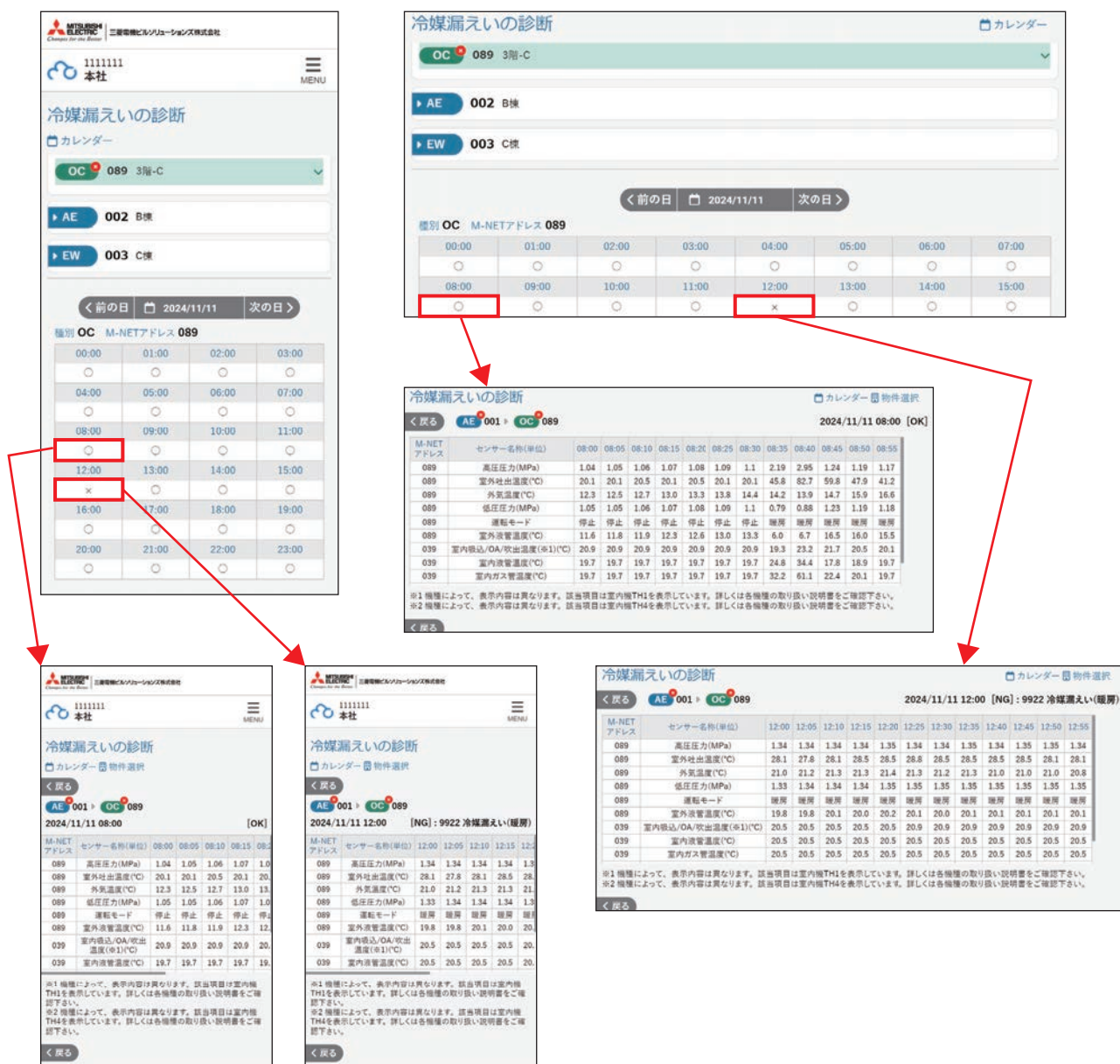
5. 表内の【○】または【×】をタップし、時間ごとの詳細ステータスを確認する。

○：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いはありません。

×：診断対象ユニットの診断結果に、冷媒漏えいまたは冷媒漏えいの疑いがあります。

運転データも参考として閲覧できます。

ただし、通信状態などにより一時的に運転データが取得できない場合があります。



※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。

※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ、EW-CZJを利用の場合はAE、EW表示、MCC-50Jを利用の場合はMCC表示になります。

2-5. 異常履歴の確認

手順

1. MELく～るLINKのトップ画面より、「異常履歴」をタップする。



2. 「異常履歴」画面より、「発生日時」と「建物番号：建物名称」を選択したあと【検索】をタップし、異常履歴を表示する。

「発生日時」…カレンダー機能から選択します。



「建物番号：建物名称」…一覧より選択します。

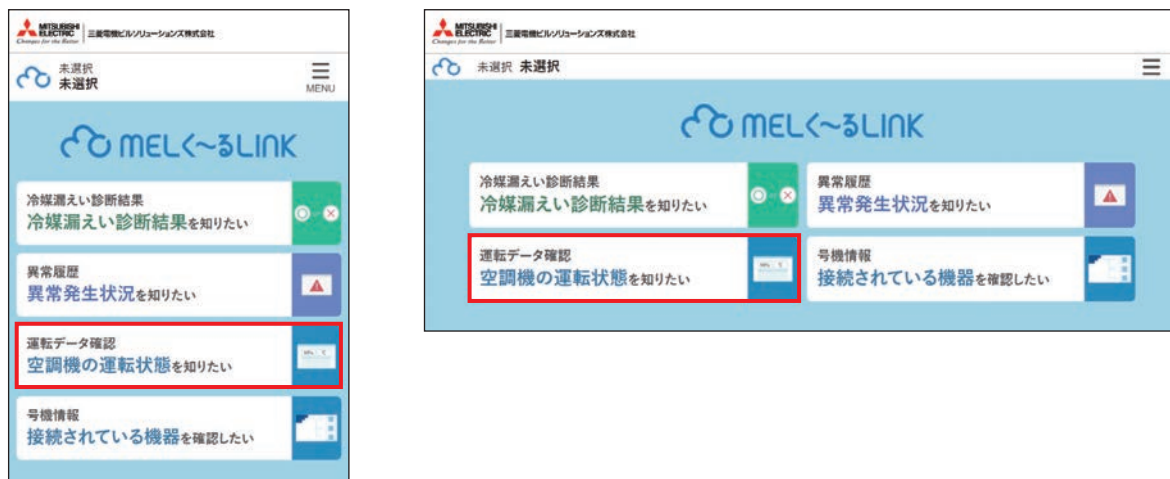
2-6. 運転データの確認

冷媒漏えい診断をご契約いただいた場合は、運転データも参考として閲覧可能になります。
ただし、通信状態等により一時的に運転データが取得できない場合があります。

※ 契約していないサービスの機能については、ご使用できません。

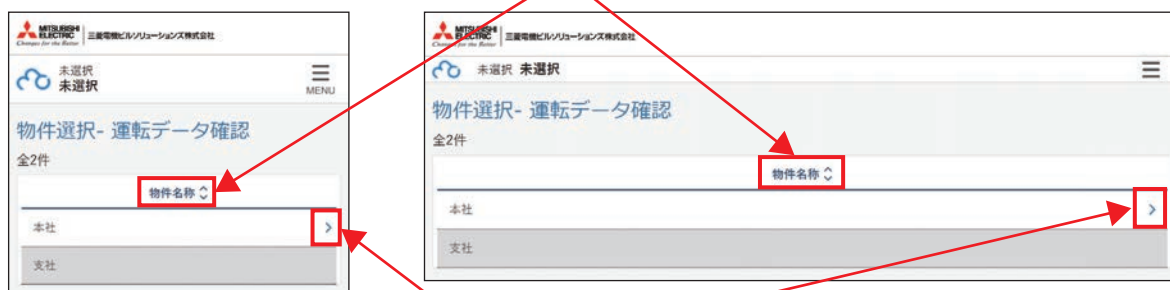
手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[運転データ確認]をタップする。



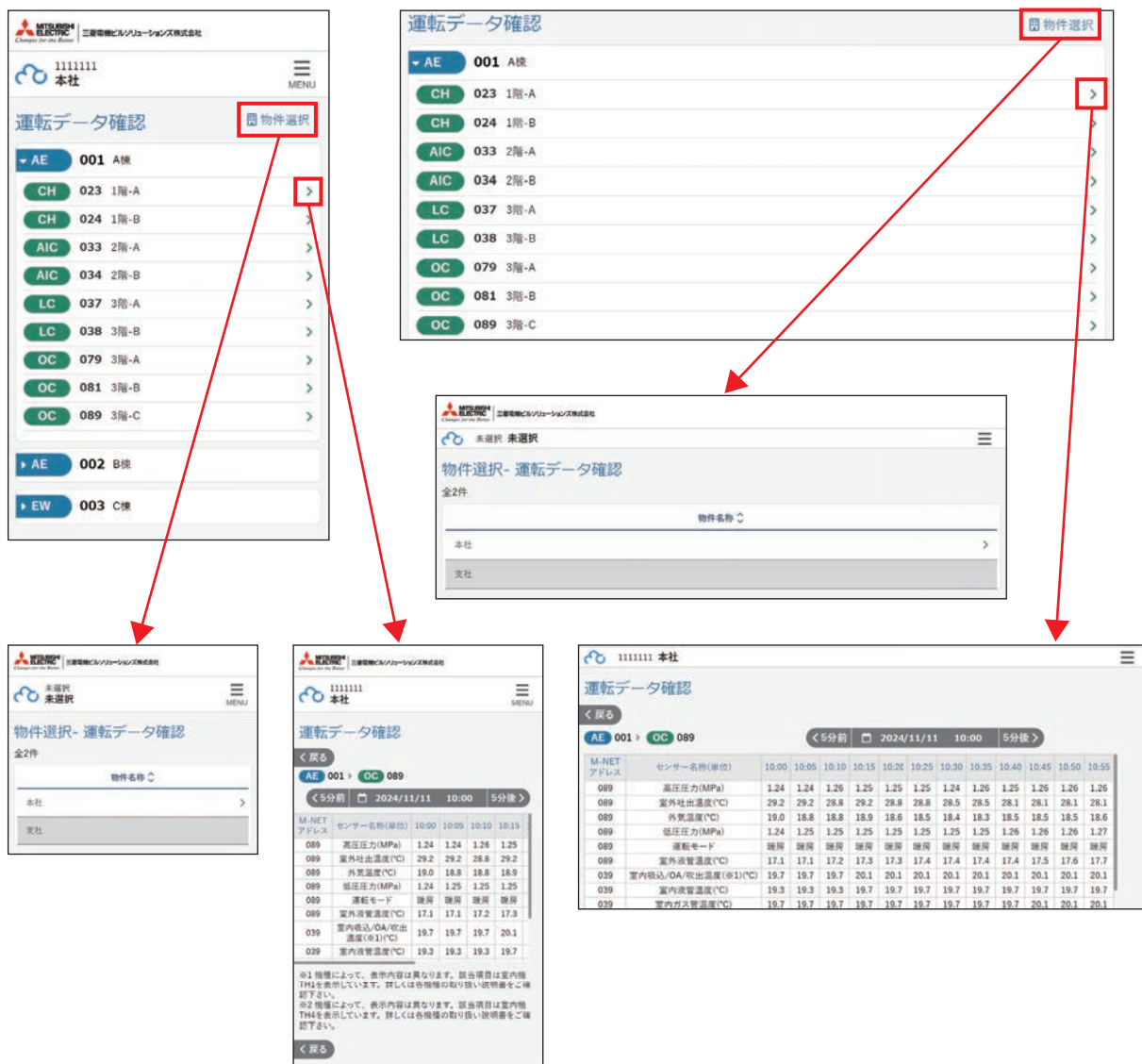
2. 「物件選択-運転データ確認」画面より、参照したい建物名称の[>]をタップする。

[⇅] ボタンで昇降順が変更できます。



[>] をタップすると、「運転データ確認」画面に遷移します。

3. 確認したい項目の[>]をタップし、時間ごとの運転データを表示する。
- 通信状態などにより、一時的に運転データが取得できない場合があります。
 - 機器名は、「2-9. 機器名リスト (26 ページ)」を参照してください。



- ※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。
- ※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJを利用の場合はAE, EW表示、MCC-50Jを利用の場合はMCC表示になります。

2-7. 号機情報の確認

手順

1. MELく〜るLINKのトップ画面より、[号機情報]をタップする。



2. 「物件選択-号機情報」画面より、参照したい建物名称の[>]をタップする。

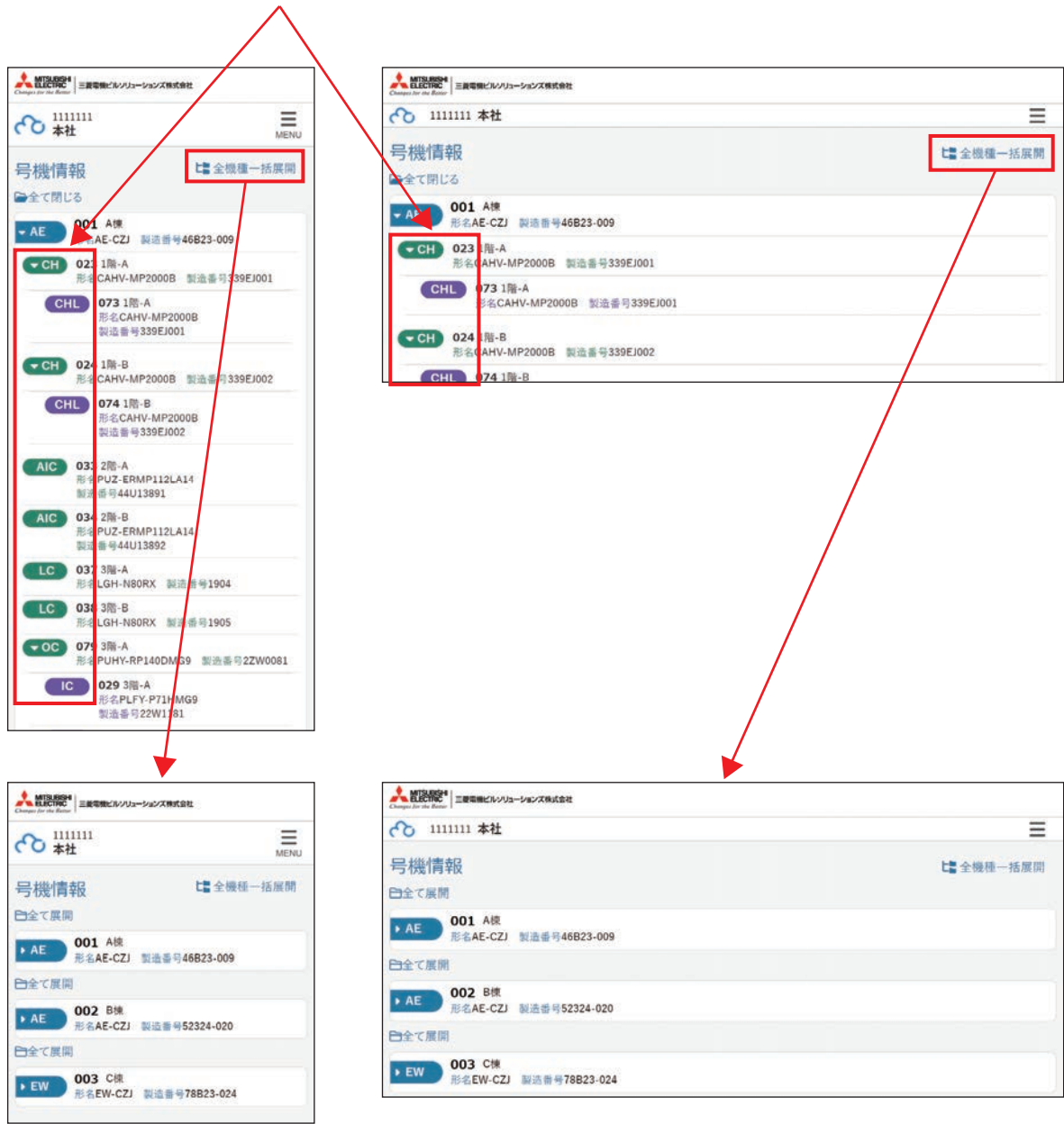
[⇅] ボタンで昇降順が変更できます。



[>] をタップすると、「号機情報」画面に遷移します。



3. 「号機情報」画面より、[▼MCC] をタップし、選択したMCCで管理されている機器の一覧を表示する。

▼MCC ツリーに接続されている機器になります。
(詳細は「2-9. 機器名リスト (26 ページ)」参照)



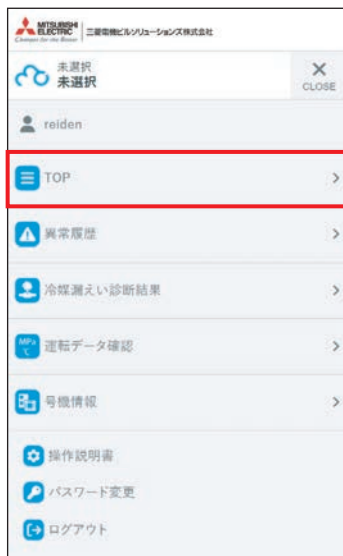
- ※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。
- ※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJ を利用の場合は AE, EW 表示、MCC-50J を利用の場合は MCC 表示になります。

2-8. メニュー画面

画面右上にある [ / ] をタッチすると、メニュー画面を表示します。

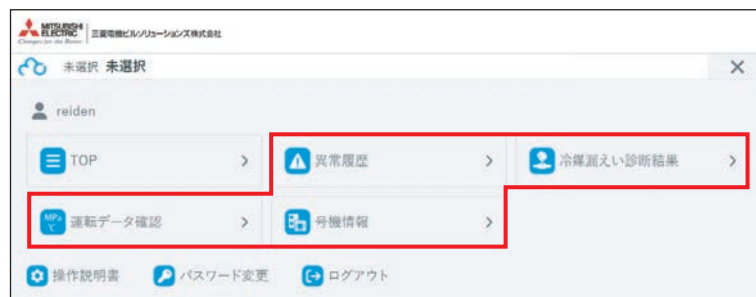
2-8-1. トップ画面

[TOP] をタップすると、トップ画面に遷移します。



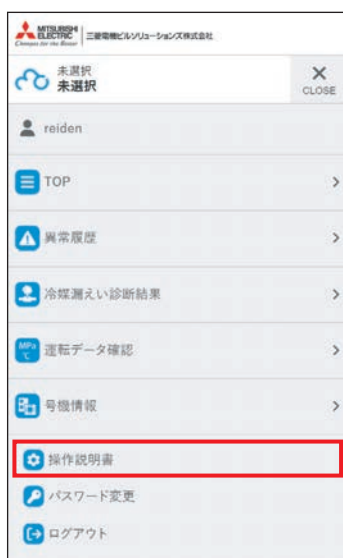
2-8-2. 各種機能

[異常履歴]、[冷媒漏えい診断結果]、[運転データ確認]、[号機情報] をタップすると、選択した機能の画面に遷移します。



2-8-3. 操作説明書

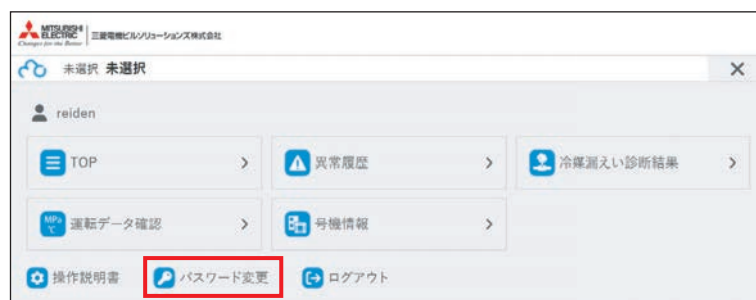
[操作説明書] をタップすると、MEL く～る LINK 取扱説明書を表示します。



2-8-4. パスワード変更

[パスワード変更] をタップすると、パスワード変更画面に遷移します。

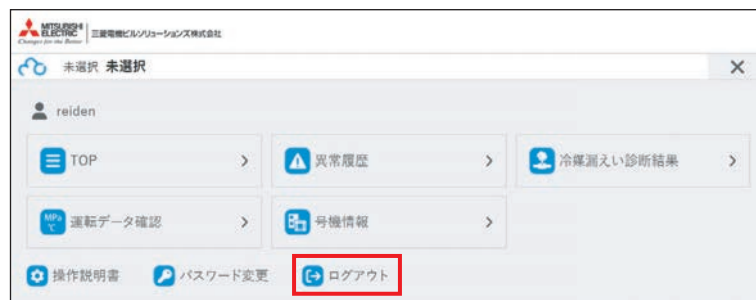
パスワード変更画面で変更するパスワードを設定します。



2-8-5. ログアウト

[ログアウト]をタップすると、MELく～るLINKからログアウトします。

ログイン・ログアウトの方法は、「2-3. ログイン/ログアウト(12ページ)」を参照してください。



2-9. 機器名リスト

ユニットまたはコントローラ		記号
室内 ユニット	ビル用マルチエアコン 設備用パッケージエアコン スリムKシリーズ	IC
	冷媒センサー内蔵	IC (SA)
	A制御スリム (M-NET 接続用アダプタ・M-NET 接続用インターフェースによる接 続)	AIC
	ルームエアコン・ハウジングエア コン	RAC、 HAC
換気 送風機	業務用ロスナイ (フリープラン対応形)	LC
	設備用ロスナイ (フリープラン対応形)	
	業務用単独加湿ユニット (フリープラン対応形)	
	換気・ロスナイ	
	エア搬送ファン	
	外気処理ユニット (加熱加湿付きロスナイ)	属性IC (設定)
	属性FU (設定)	FU
室内 ユニット	電算用パッケージエアコン	IC
システム コンポー ネント	汎用DC	DC
	計量MC	MC-P
	環境MC	MC-A

ユニットまたはコントローラ		記号	
室外 ユニット	ビル用マルチ エアコン	親機	OC
		子機	OS
	設備用パッケージ エアコン	親機	OC
		子機	OS
	電算用パッケージ エアコン	親機	OC
		子機	OS
分流コントローラ		親機	BC
		子機	BS
遮断弁キット			SV
システム コント ローラ	遠隔監視用デバイス (MCC-50J) 空調冷熱総合管理システム (AE-CZJ, EW-CZJ)		MCC、 AE、 EW
	システムリモコン		AT
	ME リモコン	主リモコン	ME
従リモコン			
MA リモコン			MA
DT-R	系統代表機(メイン)(かつ同時運転 グループ(メイン))		CH
	系統代表機(メイン)に接続された 同時運転グループ子機(メイン)		
	同時運転グループ代表機(メイン)		
	同時運転グループに接続された子 機(メイン)		CL
	系統代表機(サブ) 同時運転グルー プ代表機(サブ)		
	子機(サブ)		
ファンコイルユニット(FCU)			IC
ホットウォーターヒートポンプ(HWHP)			CE
フロンガス警報器用インターフェース			FGAIF

※ 本表のすべての機器が表示されるわけではありません。

※ MEL く～る LINK で監視可能な機器はホームページでご確認ください。

※ 機種により、一部表示の異なる場合があります。

※ 号機情報ツリーは、AE-CZJ, EW-CZJ を利用の場合は AE, EW 表示、MCC-50J を利用の場合は MCC 表示になります。

3. 定期点検

安全に機器をご利用いただくために定期点検を実施してください。

- R32 冷媒の検知器（空調機器に搭載の冷媒センサー）と別置の検知警報器は設置から5年毎に交換が必要です。交換しないまま使用を続けた場合、警報装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 安全装置回路点検（JRA GL-16 で求められる回路検査）は、1年に1回以上実施し、正常に安全装置が動作することを確認してください。点検を実施せず使用を続けた場合、安全装置が正常に作動せず、事故や火災の原因となる可能性があります。
- 機器の特性上、JRA GL-17：2021 で規定された試験条件以外では、診断の性能が低下する場合があります。特に、停止状態が長期継続する場合には、機器点検の実施を検討してください。

4.仕様

当社サービス「MELく～るLINK」の動作を確認したスマートフォン端末の対応OS、ブラウザ、機種を下記に示します。

【スマートフォン (iPhone)】

	項目	要件
1	機種	iPhone SE (第3世代)
2	OS	iOS 16.5
3	ブラウザ	Safari 16.5

【スマートフォン (Android)】

	項目	要件
1	機種	AQUOS sense7
2	OS	Android 12
3	ブラウザ	Google Chrome 129.0.6668.70

5. 修理を依頼する前に

まず、下表にしたがってお調べください。なお、AE-CZJ, EW-CZJ, MCC-50Jに異常があるときは、使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてから、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に連絡してください。

現象		原因の確認	処置方法
1	MELく～るLINKにログインできない	ユーザー名、パスワードを間違えている。	契約時に通知されるMELく～るLINKログイン用のユーザー名、パスワードを正しく入力してください。
2	ログインユーザー名を忘れた	—	お買上げの販売店へ再発行を依頼してください。再発行には数日かかる場合があります。
3	ログインパスワードを忘れた ログインパスワードが分からない	—	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名がメールアドレスの場合は、MELく～るLINKログイン画面で「パスワードを忘れた方」をクリックし、パスワード再発行画面からパスワード初期化を行ってください。 ユーザー名がメールアドレスでない場合は、契約した販売店に問い合わせてください。
4	パスワードを連続して間違えたらログインできなくなった	ユーザー名にロックがかかっている。	パスワードを連続して間違えると一時的にロックがかかります。一定時間経過後、解除されますので、正しいパスワードでログインしてください。
5	トップページに契約したサービスのメニューが表示されない	—	契約した販売店に契約内容を問い合わせてください。
6	画面が表示されない。	ボタンが押せない。	表示倍率を確認してください。（100%にしてください）
		スクロールができない。	表示倍率を確認してください。（100%にしてください）
7	冷媒漏えい診断結果/異常発生状況/空調機の運転状態が確認できない。	「こちら機能は未契約の機能につき、ご利用頂けません。」の文言が表示されている。	お買上げの販売店に問い合わせしてください。
8	日付に色が付いていない場合（無色）の判定が続く	未契約の期間や、停電、機器の故障などにより対象空調機器の運転データを正常に取得できなかった場合は、日付に色が付かない状態（無色）が継続する場合があります。	お買上げの販売店に問い合わせしてください。

5. 修理を依頼する前に

	現象	原因の確認	処置方法
9	冷媒漏えい診断により、NGが発生した。	冷媒漏えいの可能性を検知した。 空調機初期設置時に、冷媒充てん不足があった。 空調機が故障した。	冷媒漏えいの疑いを検知した場合は、業務用冷凍空調機器の封入冷媒量適正判定を実施ください。 (確認方法) 全室内機をONにして、冷房運転を行い、吐出温度/吸入SH/SCの値で冷媒量の適正判定を実施してください。本サービスの契約者様にて、本判定が難しい場合は、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)に点検を依頼してください。 (判定の結果：冷媒量の不足が疑われない場合) 空調機の運転条件により、システムでの診断と空調機の冷媒量に矛盾が生じていると想定します。 1週間続けて漏えいの疑いを検知するなどの場合は、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)を通じて、冷熱システム製作所へ連絡ください。 (判定の結果：上記に該当しなかった場合) 封入冷媒量が不足している、もしくは漏えいが発生していると考えられます。 通常の業務フローに従って、対応ください。
10	メールが発報されない。	メールアドレスが間違っている。	送信先メールアドレスを確認してください。

6. 法令関係の表示

6-1. 関連ガイドラインについて

本書で参照する冷媒漏えい診断、安全装置に関するガイドラインを示します。

- [1] JRA GL-17, 「業務用冷凍空調機器の常時監視によるフロン類の漏えい検知システムガイドライン」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2021年5月24日制定
- [2] JRA GL-16, 「微燃性(A2L)冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2023年9月25日改正)
- [3] JRA GL-20, 「特定不活性ガスを使用した冷媒設備の冷媒ガスが漏えいしたときの燃焼を防止するための適切な措置」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2022年5月23日改正)
- [4] JRA4070, 「微燃性(A2L)冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全機能要求事項」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年9月26日制定(2023年9月25日改正)
- [5] JRA4068, 「冷凍空調機器に関する冷媒漏えい検知警報器要求事項」, 一般社団法人 日本冷凍空調工業会, 2016年5月23日制定(2023年3月20日改正)

6-2. 商標、登録商標について

- Android, Google Chromeは、Google LLCの商標です。
- 「AQUOS」「AQUOS」ロゴ、「AQUOS sense」ロゴは、シャープ株式会社の登録商標または商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。
- iOSは、Apple Inc.のOS名称であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- iPhoneの商標は、日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iPhone, iPhone SE, Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MELく～るLINKは、三菱電機株式会社の登録商標です。
- その他、文中の社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。

7. 保証とアフターサービス

保証とアフターサービスについては、本章のほかAE-CZJ、EW-CZJ、MCC-50J 据付工事説明書を参照してください。

7-1. 本サービスの提供

- 本サービスは、三菱電機ビルソリューションズ株式会社に委託して実施しています。本サービスの利用には三菱電機ビルソリューションズ株式会社と「インターネット情報提供サービス」の契約が必要です。契約に関しては、お買い上げの販売店までお問合せください。

7-2. お問い合わせ

- ご不明な点は、まずお買い上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせしてください。お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にお問い合わせしてください。（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

●長年ご使用の空調機器の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニット付属の別紙）に記載の連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66